

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2015年8月16日聖日礼拝

---

使徒の働き連講60

「与えるほうが幸い」

使徒の働き20章22節-38節

竿代照夫牧師



- 22 いま私は、心を縛られて、エルサレムに上る途中です。そこで私にどんなことが起こるのかわかりません。
- 23 ただわかっているのは、聖霊がどの町でも私にはっきりとあかしされて、なわめと苦しみが私を待っていると言われることです。
- 24 けれども、私が自分の走るべき行程を走り尽くし、主イエスから受けた、神の恵みの福音をあかしする任務を果たし終えることができるなら、私のいのちは少しも惜しいとは思いません。

- 25 皆さん。御国を宣べ伝えてあなたがたの中を巡回した私の顔を、あなたがたはもう二度と見ることがないことを、いま私は知っています。
- 26 ですから、私はきょうここで、あなたがたに宣言します。私は、すべての人たちが受けるさばきについて責任がありません。
- 27 私は、神のご計画の全体を、余すところなくあなたがたに知らせておいたからです。
- 28 あなたがたは自分自身と群れの全体とに気を配りなさい。聖霊は、神がご自身の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、あなたがたを群れの監督にお立てになったのです。

- 29 私が出発したあと、狂暴な狼があなたがたの中に入り込んで来て、群れを荒らし回することを、私は知っています。
- 30 あなたがた自身の中からも、いろいろな曲がったことを語って、弟子たちを自分のほうに引き込もうとする者たちが起こるでしょう。
- 31 ですから、目をさましていなさい。私が三年の間、夜も昼も、涙とともにあなたがたひとりひとりを訓戒し続けて来たことを、思い出してください。

- 32 いま私は、あなたがたを神とその恵みのみことばとにゆだねます。みことばは、あなたがたを育成し、すべての聖なるものとされた人々の中において御国を継がせることができるのです。
- 33 私は、人の金銀や衣服をむさぼったことはありません。
- 34 あなたがた自身が知っているとおりに、この両手は、私の必要のためにも、私とともにいる人たちのためにも、働いて来ました。

- 35 このように労苦して弱い者を助けなければ  
ならないこと、また、主イエスご自身が、『受  
けるよりも与えるほうが幸いである』と言われ  
たみことばを思い出すべきことを、私は、万事  
につけ、あなたがたに示して来たのです。」
- 36 こう言い終わって、パウロはひざまずき、み  
なの者ととともに祈った。
- 37 みなは声をあげて泣き、パウロの首を抱い  
て幾度も口づけし、
- 38 彼が、「もう二度と私の顔を見ることがない  
でしょう」と言ったことばによって、特に心を痛  
めた。それから、彼らはパウロを船まで見送っ  
た。

# 説教

使徒の働き連講 60

「与えるほうが幸い」

使徒の働き 20章 22節 - 38節

竿代照夫師



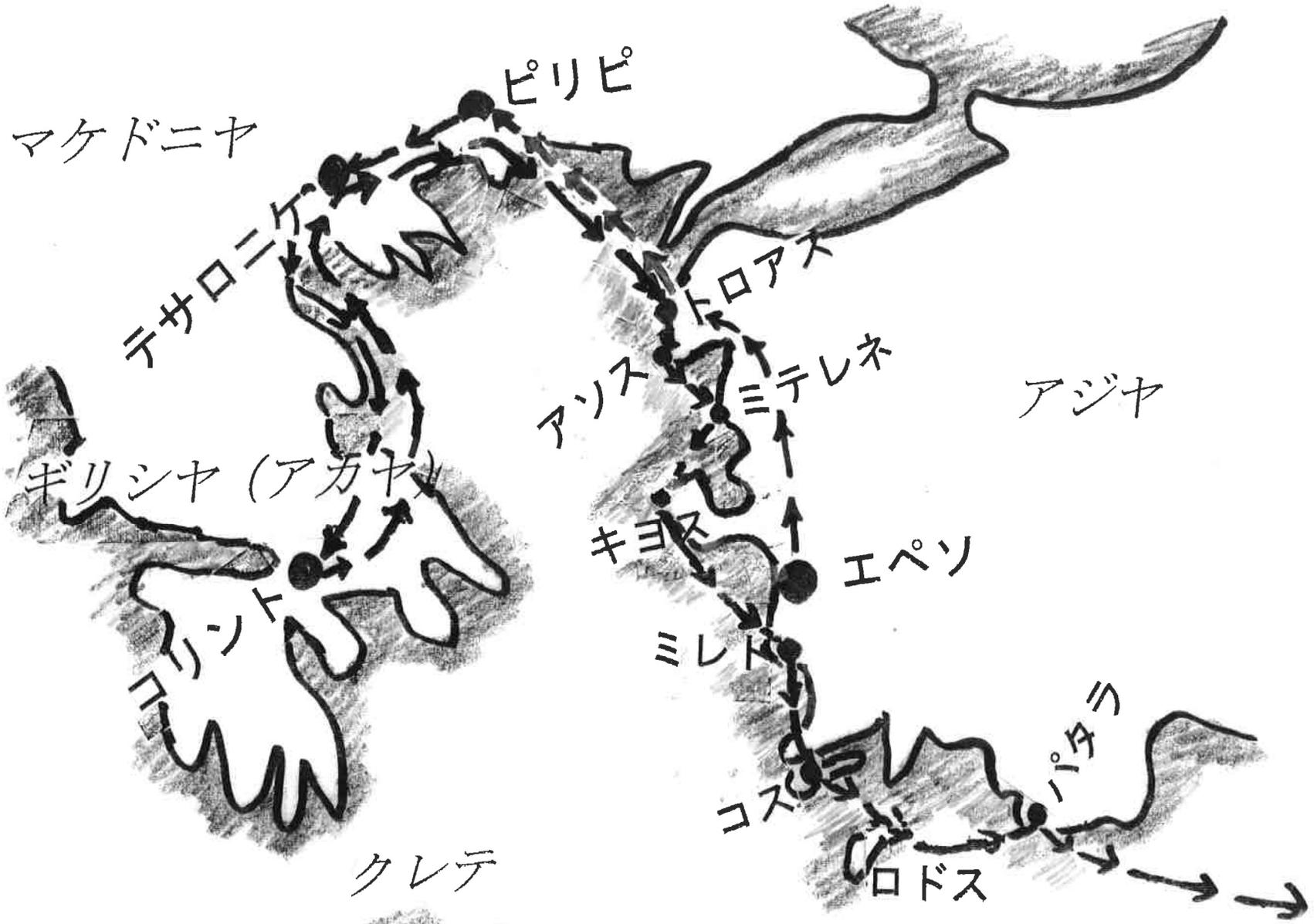
## 主テキスト

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである。』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです。」

(使徒の働き 20:35)

# 1. 危険に臨む覚悟(22 - 27節) <先週>

- ・エルサレムで待っている危険(地図参照)
- ・生命を捨てる覚悟
- ・ラッパを吹いた「見張り人」のように(エゼキエル33:3 - 6)



パウロ第三次伝道旅行の帰途

## 2. エペソ教会長老への訓示(28 - 32節) <先週>

- ・自分自身に気を付けること(生活の規律)
- ・群れをケアすること
  - ・「神が血をもって買い取られた教会」という尊さを覚えて
  - ・牧者として、監督として
  - ・外からの異なる教えに対して警戒
  - ・内から起きる「曲った教え」に警戒
- ・神とその恵みのみことばに委ねる

### 3 . パウロ自身の潔白さの弁明( 3 3 - 3 5 節)

- ・自分の潔白さの証し: 1テサ 2: 9、2テサ 3: 8、1コリ 9: 11 - 12、2コリ 11: 8 - 9
- ・シンプルライフの証し: ピリピ 4: 11、1テモテ 6: 6 - 8
- ・労働の証し: パウロ自身だけでなく一行の生活費も支える
- ・与える幸いの強調
- ・口伝伝承(ロギア)の存在
  - ・与える幸いの適用
  - ・主イエスの生涯
  - ・パウロの模範
  - ・私たちの実践

## 4 . 告別 ( 3 6 - 3 8 節 )

- ・ 祈り : 美しい別れの形

- ・ 口づけ

- ・ 見送り

おわりに:「与える幸い」を实践しよう